

道徳だより

どう Do 徳 ?
どう 説く ?
どう 道 talk



テーマ：全ての児童を取りこぼさない細かなテクニック

令和 6 年 9 月
京都市立道徳教育研究会
広 報 部
(第 3 号)

今回は、7月31日（水）に桃山南小学校 安藤友里教諭に行っていた、授業実践力向上講座から「全ての児童を取りこぼさない細かなテクニック」について紹介させていただきます。

内容項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任

第2学年「わりこみ」（「生きる力」日本文教出版）

本時の「ねらい」

してよいこととよくないことを区別するとき、人に左右されることなく自分でよく考えることが気持ちのよい生活につながることを理解し、よいと思うことを行う態度を養う。

安藤先生が授業において大切にされていること

- 1 みんなが参加できる授業づくりをする
～思いを表出できる場を設定～
- 2 板書をシンプル化させる ～挿絵は大きく、言葉は少なく～

その為の細かなテクニックがいっぱい！！

さらりと模擬授業をされていましたが、
ポイントがいっぱい！！



コーディネーター
桃山南小学校
教諭 安藤 友里
(シニアマイスター)

導入で→「先生もそんなことあるわ。」この発言。

児童に共感♡ 児童が安心して発言できる工夫

お話を読む前に→「今回の登場人物は〇〇。でも、ぼくの気持ちになってお話を聞こう。」

児童がお話を聞く視点が絞れて Good

全ての児童を同じ土台に立たせる工夫
お話が分かれば話し合いに参加できる

教材を読みながら挿絵を貼っていく。

気づけば児童がお話の中に
入り込んでいる。

いつの間にか板書も完成！！



